



特定非営利活動法人
日本臨床歯周病学会
平成29年度 第2回九州支部教育研修会
プログラム集

歯周治療に対する包括的アプローチ

— Dr.の目線・DHの目線 —

日 時 平成30年3月4日(日) 9:00～16:05 (予定)

場 所 パピヨン24ガスホール 福岡市博多区千代1-17-1

ご挨拶

歯周治療を長期にわたり成功へと導くためには、Dr.とDHが情報を共有しながら、同じ目標に向かってそれぞれの仕事を遂行していくことが重要です。そのような思いから当支部では平成25年度の支部教育研修会においてDr.とDHと一緒に聴ける講演会を企画しましたところ、大変ご好評をいただき、今回で5回目の開催となります。

本年度は大阪市でご開業の南昌宏先生と、南歯科医院ご勤務の貴島佐和子先生をお招きして、歯周治療に対する包括的アプローチについてご講演いただきます。複雑な問題を抱える歯周病患者に対して、個々の患者によって異なる要望や生活環境に応じてどのように信頼関係を築きながら治療をすすめていくのか、また長期にわたるSPTの過程で生じる新たな問題にどのように対処していくのか、さまざまなケースとともに歯科医師・歯科衛生士それぞれの視点からお話しいたします。

また、前半の部では、九州支部より樋口琢善先生、村川達也先生、山下素史先生にご登壇いただき、臨床の現場における歯周組織再生療法の可能性と限界について、豊富な症例とともに話しいたします。それぞれの個性が光るケースプレゼンテーションにご期待ください。さらに、貴島先生には歯周治療の基礎をなす歯周基本治療の重要性について、歯科衛生士としての豊富な経験から得た知識をもとにご講演いただきます。

以上の内容で、皆様にとってきっと実りの多い一日になることと思います。どうぞ最後までご参加いただきますよう、お願い申し上げます。

プログラム

前半の部 再生療法セッション & 貴島先生 特別講演

- 9:00～ 開会の挨拶 中富 研介 支部長
- 9:05～9:45 **講演①** 座長：白石和仁、吉田茂
山下 素史 先生
「エムドゲインを用いた再生療法」
- 9:45～10:25 **講演②** 座長：白石和仁、吉田茂
村川 達也 先生
「歯周組織再生療法 ー軟組織による生体防御機構の回復ー」
- 10:25～10:45 休憩(20分)
- 10:45～11:25 **講演③** 座長：白石 和仁、吉田 茂
樋口 琢善 先生
「重度歯周疾患への対応～歯の保存にこだわった全顎的治療～」
- 11:25～11:40 休憩(15分)
- 11:40～12:40 **衛生士特別講演** 座長：西原 薫
貴島 佐和子 先生
「歯周基本治療・知識をどう生かすか」
- 12:40～13:40 昼食、休憩(60分)

後半の部 Dr.& DHコラボ講演～15:55

- 13:40～14:40 **前半** 座長：水上 哲也、下田 裕子
南 昌宏 先生 × 貴島 佐和子 先生
「歯周治療に対する包括的アプローチ ーDr.の目線・DHの目線ー」
- 14:40～14:55 休憩(15分)
- 14:55～15:55 **後半** 座長：水上 哲也、下田 裕子
南 昌宏 先生 × 貴島 佐和子 先生
「歯周治療に対する包括的アプローチ ーDr.の目線・DHの目線ー」
- 15:55～16:05 質疑応答 座長：水上 哲也、下田 裕子
- 16:05～ 閉会の挨拶

講演①

エムドゲインを用いた再生療法

山下歯科医院－歯周再生インプラント研究所－ 山下 素史



歯周組織を再生するということは、歯周病治療における究極のゴールといわれているが、実際にはそう容易なことではなく、様々なファクターを考慮し基本治療からメンテナンスまで適応部位に対する適切な処置を行う必要がある。歯周組織再生とはどういうことか。再生治療に用いる材料に関わらず、最も本質となる歯周組織再生の事象について完全に理解することが重要である。そしてその原理に基づき、適切な処置を把握する必要がある。

歯周組織再生療法は、新たなシグナリング分子の開発や幹細胞や遺伝子を用いた治療法など今後も進化を遂げていくであろうと推測されるが、現時点で最も実績がありエビデンスにより効果が実証されているものはエムドゲイン(Emdogain®)であると考えられる。

エムドゲインが歯周組織再生治療に世界中で広く用いられるようになり20年以上が経過している。その間、EMD (Enamel Matrix Derivative)およびその主成分であるアメロジェニンや含有される他のエナメルタンパクに関する、間葉系幹細胞や骨および軟組織の再生の基幹となる種々の細胞への分化・増殖作用について、多くの基礎研究により新たな分子生物学的な知見が得られている。つまり、エムドゲイン開発当初の発生学を模倣したコンセプトからより詳細なメカニズムへの理解の転換を図ることで、より戦略的な生体内におけるTissue Engineeringへの道が開けてくる。

今回は、現在までの症例を通じて、エムドゲインを用いた再生が長期に成功するために何が必要かということについて考察を行い、さらにエムドゲインを用いた硬軟組織に対する新たな再生の可能性についても言及したい。

【略歴】

1999年 九州大学 歯学部 卒業 船越歯科歯周病研究所 勤務
2004年 日本歯周病学会 歯周病専門医
2006年 米国テキサス大学ヘルスサイエンスセンターサンアントニオ校 歯周病科
2007年
～2012年 船越歯科医院 副院長
2012年 ITI フェロー 就任
現 在 山下歯科医院－歯周再生インプラント研究所－
船越歯周病学研修会 インストラクター
ITI日本支部公認インプラントスペシャリスト

【所属】

- ・日本歯周病学会 歯周病専門医
- ・日本口腔インプラント学会 会員
- ・日本臨床歯周病学会 会員
- ・アメリカ歯周病学会 会員
- ・ITI(International Team for Implantology) Fellow

—軟組織による生体防御機構の回復—



Dr. Tetsuya Kato is a portrait of a middle-aged man with dark hair, wearing a dark suit, white shirt, and a patterned tie. He is looking directly at the camera with a neutral expression.

MEMO

講演③

重度歯周疾患への対応 ～歯の保存にこだわった全顎的治療～

ひぐち歯科 樋口 琢善



重度歯周疾患に対する処置として、歯周外科は避けては通れないオプションであると近年強く感じているが、観血処置で長時間に及ぶため患者さんにとっても、我々医療サイドにとっても負担は大きく敬遠されがちであると考えている。しかし、歯周外科は理論的根拠に裏付けされた治療術式と明確な目的を持って行う事で、歯の延命や審美性・機能性の長期予後も期待出来る有効性・有益性の高い処置であると実感している。今回は重度歯周疾患に対しての治療戦略や、長期予後、リカバリーなどを提示し、患者さんとの関わりの中で歯周外科の有用性やマテリアルの変化を私見を交えて述べさせていただく。みなさんの明日からの診療の一助になれば幸いであると考えている。

【略歴】

1996 年 松本歯科大学卒業
ひぐち歯科勤務
1999 年 久留米市青木歯科勤務
2002 年 現在地にて開業
2012 年 南カリフォルニア大学歯学部Visiting Scholar

【所属】

日本インプラント学会会員
日本顎咬合学会会員
臨床歯周病学認定医
日本審美歯科協会会員
OJ会員
北九州歯学研究会会員
包括歯科学会副会長
JACD会長

MEMO

歯周基本治療・知識をどう活かすか



南歯科医院 貴島 佐和子

近年の歯科医療の進歩は目覚ましく、歯周治療の分野においても診断技術や歯周再生治療などの進歩で、治療効果は格段に良好なものになって参りました。しかし歯周治療における衛生士の役割は変わる事はなく、歯周治療の基礎を担いその成否を左右するといっても過言ではありません。歯周基本治療の結果如何では初診時保存が難しいと思われた歯も保存できるかもしれないという望みが持てるようにまで回復してくるケースもあります。歯科衛生士は組織をできるだけ傷つけることなく温存しながら基本治療を進めなければならない、数多くある器具、機材の中から何を選びどのように使用して成果をあげていくのかは大きな課題の一つでもあります。

一人一人違う人生を歩んで来られた患者さんに対し歯科衛生士がどのように関わっていくのかはエビデンスだけでもテクニックだけでも乗り切れるものではなくマニュアルなども存在しないのではないかと感じています。しかし情報が溢れている今、実際にはどのように基本治療やSPTを行って良いかわからず戸惑っている歯科衛生士も少なくないと聞きます。

本日は質問の多い項目の中からいくつかの症例を紹介致します。それらが皆様の経験の一つになることができれば幸いです。

【略歴】

1984年 大阪歯科学院専門学校卒業
本多歯科医院勤務
2003年 南歯科医院勤務
2010年4月 日本臨床歯周病学会認定歯科衛生士
2014年～ 大阪大学歯学部附属歯科技工士学校非常勤講師

5-D Japan DHコース講師

MEMO

歯周治療に対する包括的アプローチ ～Drの目線・Dhの目線～

南歯科医院 南 昌宏



「いつまでも美しく健康でありたい」誰でもが望むことです。ましてや一度失った健康を長い治療期間をかけて取り戻したかたにとっては切実な望みでありまた私たち医院サイドにおいてもそれは究極の願いであります。

近年の歯科医療の進歩は目覚ましく、一昔前には考えられなかった程治療のオプションは増え、さらにインターネット等による歯科治療情報の一般の人たちへの普及により、患者の歯科に対する要望も高くなってきているようです。歯周治療の分野においても診断技術や歯周再生治療などの進歩で、歯周病に罹患してしまったとしても矯正治療やインプラント、再生治療によりより天然歯となんら変わらず機能を果たし長期安定できるような治療のゴールを迎えることができるようになりました。しかし臨床では単純なケースは少なく、ほとんどのケースは色々な条件が複雑に組み合わさっていると思います。

また歯周病は生活習慣病であり一旦病状が安定しても再発の可能性があるため継続したSPTが不可欠です。がプラークコントロールの低下などにより、歯周病が再発することもあり、長期安定を望まれている患者さんにとってそれらのトラブルはとても不快で医院や歯科衛生士に対して不信感を抱くきっかけになることも経験しています。

一言で「Longevity」と表現しても患者さま個々により状態は異なります。理想的な動的治療を受けることができた方、様々な理由によりそれが叶わなかった方によっても違うでしょう。患者さんを取り巻く環境によっても違いがあるでしょうし時期によっても違いがあるかもしれません。ストレス社会と言われている現代においてはそれらの問題に専門性を持って其々に応じ、長期に渡り患者さんと係わり情報を把握し、良好なコミュニケーションを築いていくことが長期に渡りメンテナンスを持続させ健康を保っていくうえにおいて大切なことではないかと考えます。

本日は南歯科医院における歯周治療からメンテナンスまでのいろいろなケースをDrの立場からDhの立場からお話させていただきたいと思います。

【略歴】

1986年 大阪歯科大学 卒業
1989年 本多歯科医院・木原歯科医院 勤務
1993年 三日市南歯科 開設
2003年 南歯科医院 開設
2006年 医療法人皓隆会 南歯科医院 開設

【現在】

大阪歯科大学歯科保存学講座非常勤講師
日本臨床歯周病学会(指導医)
日本顕微鏡歯科学会(評議員)
日本デジタル歯科学会(理事)
International Academy for Digital Dental Medicine (active member)
European Academy of Esthetic Dentistry (affiliate member)
5-D Japanファウンダー



協 賛 企 業

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| ■EMS Japan 株式会社 | ■白水貿易株式会社 |
| ■株式会社松風 | ■株式会社白鵬 |
| ■株式会社DentaLight | ■リンカイ株式会社 |
| ■株式会社モリタ | ■三井住友トラストクラブ株式会社 |
| ■ジンマー・バイオメット・デンタル株式会社 | ■株式会社メディカルプログレス |
| ■デンツプライシロナ株式会社 | ■ライオン歯科材株式会社 |
| ■トータル・ワークアウト福岡店 | ■東和ハイシステム株式会社 |
| ■アサヒプリテック株式会社 | ■ALL Graft Japan |
| ■株式会社ジーシー | ■株式会社ジオメディ |
| ■ストローマン・ジャパン株式会社 | ■株式会社ゼロメディカル |
| ■日本歯科薬品株式会社 | ■Goodbye Perio プロジェクト |
| ■ヒューフレディ・ジャパン合同会社 | ■クインテッセンス出版株式会社 |
| ■株式会社ガイドデント | ■医歯薬出版株式会社 |
| ■株式会社マイクロテック | ■株式会社デンタリード |
| ■株式会社メディアート | ■科研製薬株式会社 |
| ■株式会社ヨシダ | |

(順不同)